



ボーカリスト  
ふたり  
石崎 紀彦さん

東日本大震災の復興支援に向う途中、立ち寄った東北自動車道国見サービスエリアでの出来事をきっかけに、震災からの復興に向かう国見町を支援する曲「small cherry」を作り、平成23年に義経まつり会場で披露。以後、毎年義経まつりでのライブを開催し、国見町を音楽の力で元気づけている。

### 沢山の笑顔の花が咲きますように

東日本大震災から今年で10年。ここまでの道のりは、決して平坦ではなかったと思います。しかし、国見町のみなさんの強い気持ちが復興へと繋がりを一歩一歩、日常を取り戻しつつあると思います。ただあの日の悲しみは誰もが忘れることなくこれから後世へと語り継がれる一大事だと思います。「明けない夜は無い」という言葉があるように、必ず素敵な未来、子どもたちが笑顔で暮らせる町へと復興する事を心から願っております。現在は新型コロナウイルスの影響で平成23年以降、毎年、国見町へ歌を届け続けていましたが、その活動も行えずとても残念です。国見町を想い書いた「small cherry」がこれからも沢山のの方に聴いてもらえたらと思います。

そして、国見町のみなさんの笑顔やご声援は本当に温かく、逆に僕が勇気や希望をもらいました。本当にありがとうございます。

国見町のみなさんにこれからもずっとずっとエールを送り続けます。

そして、心から笑える日が続きますように。この春に沢山の笑顔の花が咲きますように。



平成25年3月に国見サービスエリアで歌うふたり



ミュージカル俳優  
沢木 順さん

町内のファンの方が中心となり、国見町でコンサートを開催したことを契機に毎年国見町でコンサートを開催。多くの人々にミュージカルの魅力を伝えている。東日本大震災の際には、全国各地のコンサート会場で国見町への義援金を募るなど、国見町を支援し、今も様々な支援をしている。

### 時薬 効き目確かな 10年間 皆で目指そう 完全復興

大震災から10年語り尽くせぬ困難に立ち向かい戦い抜いてこられた国見町の皆様に敬意を表します!!

ここまでのご苦労は並大抵のものではなかったと思います。

「さあ!! これから完全復興に向かって進んでいこう!!」

という時に新型コロナという新たな大敵が現れました。

本当に大変な時代になりました。

しかし今こそ歴史ある国見町の底力を発揮する時だと思います。

一昨年あつかし山の展望台から国見町を一望した時の感動は今も甦ります。

『日本にこれだけ素晴らしい町は他には無い!!』と思いました。

試練を乗り越えて素晴らしい国見町が世界一のユートピアになってくれると信じています。

私も国見町応援大使として微力ではございますが、精一杯頑張りたいと思います!!

今は飛んで行かれませんが鎌倉から常にエールを送っています。

フレーフレー!! 国見町!!

フレーフレー!! 国見町!!



平成23年9月に観月台体育館のステージで町民と歌う沢木さん



公益社団法人  
日本バスケットボール協会 会長  
三屋 裕子さん

平成25年、国見町応援ツアー団長として国見町を訪れ、以後、あらゆる機会の特産品のモモなどの農産物をはじめ町の魅力を多くの人々に発信。また、国見町で講演会やバレーボール教室を開催するなど、東日本大震災で復興に向かう国見町に元気を与えている。

### 震災前に戻らず、もっと先へ向かって

平成25年8月に初めて国見町を訪れた時には何の先入観もなく、素朴ですごくなつかしい商店街や何も遮るものがなく青空が広がる中尊寺ハス池、キラキラした若い農家さんが一生懸命に育てたモモ畑の光景を今でも鮮明に覚えています。

その時に今まで食べたことがないカリッとした甘いモモにとっても感動しました。

その後も何回か国見町を訪れたり、東京で農産物を販売するイベントを訪ねましたが、若い人たちがとてもキラキラしていていい表情をしていました。震災の前に戻すだけではなくもっと国見町を良くしていこうという意気込みを感じました。

住んでいる人にとっては当たり前でも外から見ると素晴らしいものが国見町にはいっぱいあると思います。ただ震災前に戻すだけではなく、これからもっと国見町が良くなるために自分たちに何ができるのかを考えていけばこの町にも負けない素晴らしい町になると思います。そんな夢をみんなで持ってもらいたいです。私はこれからもそんなキラキラした国見町のみなさんを応援していきます。



平成26年2月に県北中学校女子バレー部を指導する三屋さん



分とく山総料理長  
野崎 洋光さん

平成26年に国見町で食をテーマとした講演会を開催。また国見町の農産物を使ったおいしいレシピコンテストの審査委員長を務めるなど、国見町の農産物の素晴らしさを評価していただき広くPR。近年では町の農産物を使った減塩セミナーを開催。食を通して国見町を応援している。

### 牛の歩みの如く、ゆっくりと一歩ずつ

日々の暮らしの中で常に沢山の問題が山積していきます。

十年前の震災は今までは比べものにならないほど、皆の心を震撼させました。復興の十年だったと思います。しかしみなさまはこの難局を乗り越えてきました。

地元学を振り返り、先人より伝えられた国見魂で、この町の復旧・復興に向け手を携え、町民がスクラムを組み、地の力(産物や人柄)を育ててきたからです。牛の歩みの如く、ゆっくりと一歩ずつ。

直ぐに結果が見える事ではありませんが、いつか振り返れば桃源郷となりえる町を作ってください。未来の人に誇れる、命の水・命の風・命の心が茂る国見町。国見町は住みたくなる聖地です。



平成27年3月に食の安全安心講演実演会で講演する野崎さん